

## 小麦「さとのそら」高品質安定生産のための栽培法

### 研究のねらい

群馬県の小麦品種は、平成23年播き以降、「農林61号」から「さとのそら」に全面的に切り替わりました。これに先だち、高品質安定生産の基礎となる各種栽培試験を実施しました。

- 2 播種量を多くすると収量は多くなる傾向があるが、播種量の増加に伴い千粒重が軽くなり品質が低下する傾向があることから、5～7kg/10aを目安とします(図2)。
- 3 施肥量は、基肥10kg/10a(窒素)で穂数も多く、多収となります(図3)。

### 技術の特徴

- 1 播種期は、収量および外観品質が優れる11月20日前後が適期です。これより早い播種では、収量および外観品質とも劣ります。一方、遅い播種では外観品質が低下します(図1)。

### 今後の取り組み

湿害対策等普及指導機関、農業団体等と連携して更なる高品質安定生産を図ります。

(執筆者：高橋 利和)

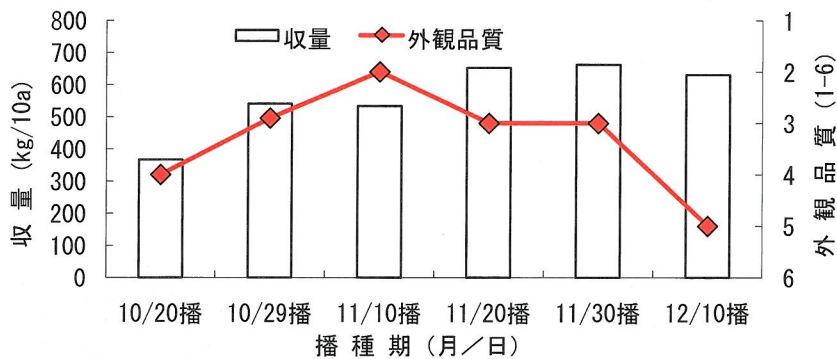


図1 播種期と収量および外観品質との関係

注) 外観品質：1-3が1等相当、4-5が2等相当、6が規格外

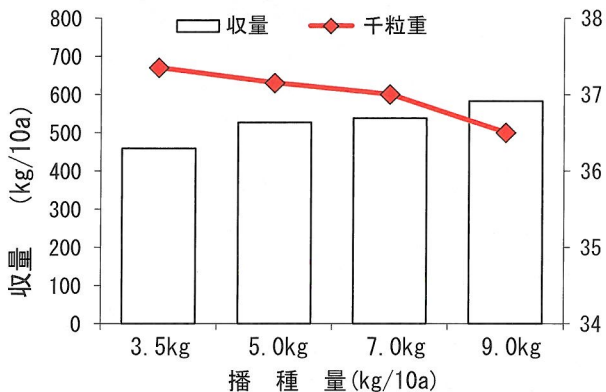


図2 播種量と収量および千粒重との関係

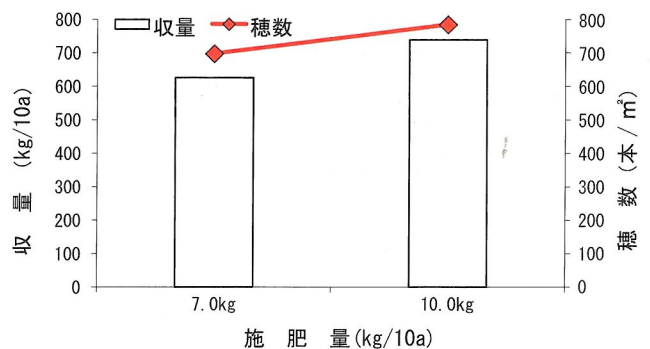


図3 基肥量と収量および穂数との関係